

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室
実施報告書

東京都 板橋区立上板橋第二中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年10月8日 (火)

■ク ラ ス : 2年C組 (31名)

■オリンピアン : 田中 めぐみ 先生 (陸上競技) 【出場オリンピック/シドニー大会、アテネ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、今日は運動と座学の2時間を通して、オリンピックについて学ぼうと授業の目的を確認。運動の時間では「全力でチャレンジすること」「チームの仲間と協力すること」「仲間に感謝したり尊重したりして、仲間の意見をしっかりと聞くこと」を約束し、準備体操に移る。
- ・準備体操として、ストレッチと走り方のポイントやコツを実践した後、タッチ鬼を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・障害物リレーを6班対抗で2回実施。長距離を走る時のポイントを思い出し、「よい姿勢で、胸を開き、腕をしっかり振ること」を意識するよう伝える。
- ・各回終了後に作戦タイムを設け、班ごとにタイムを縮める作戦と目標タイムを話し合う。

4. まとめ



- ・目標を達成できたチームもできなかったチームもいると思うが、大事なのは結果よりも皆が作戦を考えてチャレンジしたことだと伝える。
- ・この後の座学の時間で田中先生の経験も含めてオリンピックバリューについて皆に話すので、教室に移動するまでの間、運動の時間に取り組んだ中で3つのオリンピックバリューに当てはまることを考えながら戻ってほしいと話し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・田中先生の経験を踏まえて、オリンピックについて説明したいと授業の目的を確認。
- ・田中先生にとってのオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、努力する、ベストを尽くす」「フレンドシップ＝友情、仲間を信頼する」「リスペクト＝敬意/尊重、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：夢や目標を叶えるためにできること、頑張りたいことをオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。
- 発表：「何事にもチャレンジ」「自分を追い込む」「毎日しっかりと練習する」「やることを止めずに最後まで全力で取り組む」(エクセレンス)
 「友達を大切にする」「友達に相談する」「ライバル関係を作る」「仲間と協力する」(フレンドシップ)
 「相手を敬う心」「挨拶をする」「教えてくれる人(相手)に感謝」「感謝を込めて日々行動する」(リスペクト)

4. まとめ



- ・目標達成のためには「自分の力以上に頑張らなければいけない」という気持ちになるが、まずは自分のできる範囲で挑戦してみることがオリンピックバリューにつながる。オリンピック教室で学んだことを忘れずに、毎日挑戦してより良い人生を送ってほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2019年10月8日 (火)

■ク ラ ス : 2年A組 (31名)、2年B組 (31名)

■オリンピアン : 長岡 千里 先生 (ボブスレー) 【出場オリンピック/トリノ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・長岡先生から自己紹介し、ボブスレーについては座学の時間に映像を交えながら紹介するので、運動と座学の時間を通してオリンピックとは何かを皆に伝えたいと授業の目的を確認。
- ・準備運動として、ストレッチを行った後、そり競技(リュージュ、ボブスレー、スケルトン)の姿勢を体験した。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳び(90秒×3回)を2班ずつ3チームに分かれて実施。各回終了後に作戦タイムを設けて、記録を伸ばすための作戦を話し合う。

4. まとめ



- ・回数を増やすためにどうするか、各チームで考えて話し合った結果が回数に結び付いているので、次の座学の時間では、運動の時間で感じたことを振り返ると予告し、授業終了。

■授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・トリノ大会の映像や競技用具を見せながら、オリンピックやボブスレー競技について説明。
- ・長岡先生にとってのオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす」「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する」「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る」と説明。

3. グループワーク



- 発問：8の字跳びの結果を受けて、どう思ったか、どう感じたか書き出してみよう。
- 発表：「目標が1つになったことで、1回目に比べて団結力が深まった」「1回目の結果から改善点や課題を考えて2回目につなげることができた」
 「最後まで結果はわからないので、諦めずに取り組んだ」「結果がよくなっても、一生懸命取り組んだから楽しかった」
 「途中でアクシデントが起こったが、作戦を立てて改善することができ、誰も他の人を責めなかったことがよかった」

4. まとめ



- ・思ったことや感じたことを言葉にするのは難しく、グループワークで話し合い、意見を言葉にしたことは皆にとって財産になる。
- ・夢を途中で変わってもいいので、興味を持ったことを突き詰めて自分が輝ける道を見つけてほしい。心の中に興味の柱をたくさん立て、目標に向かって挑戦を続けてほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真



■ 記念品贈呈

2年A組



2年B組



2年C組



■ 修了証贈呈

